

Portfolio Seismic - Business Continuity Management (ポートフォリオ S - BCM)

篠塚研究所は、生産量の低下やサービスの停止期間を定量的に捉え、事前・事後を含め、費用対効果の優れた対策を立案します。



ポートフォリオS - BCMとは？

広域に散在する生産施設、オフィス、物流拠点は、同時に地震被害を受ける可能性は低く、一方が被害を受けても、他方でこれを補完することができます。つまり、施設の広域的な分散配置をネットワークシステムとして捉える必要があります。ポートフォリオS - BCMでは、対象施設全体の物流に着目することで、ウィークリンクとなる施設や脆弱な設備を抽出し、機能低下を抑える効果的なマネジメントを行います。

特徴

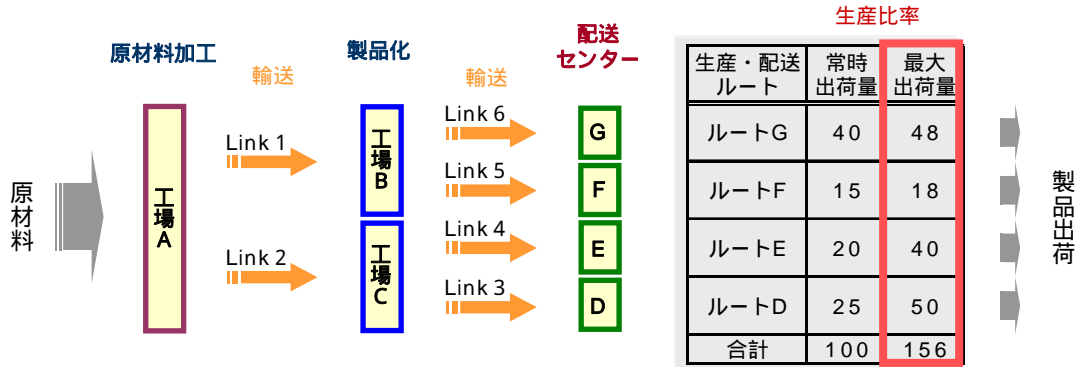
- ・物流や製品の流れをネットワークシステムとして評価します。
- ・生産施設や物流拠点間の導通性も考慮します。
- ・生産量の低下やサービスの停止期間を、リカバリー曲線を使い、わかりやすく示します。
- ・バックアップ機能や生産調整による効果を示すことができます。

利用方法

- ・脆弱な生産施設や物流拠点を把握できます。
- ・補強などの物理的対策の効果やバックアップ機能の有効性を把握できます。
- ・費用対効果の優れた対策を提供できます。
- ・マニュアル整備を含めた総合的な対策を提案します。

生産・配送ルートネットワーク

生産・配送ルートの並列システム

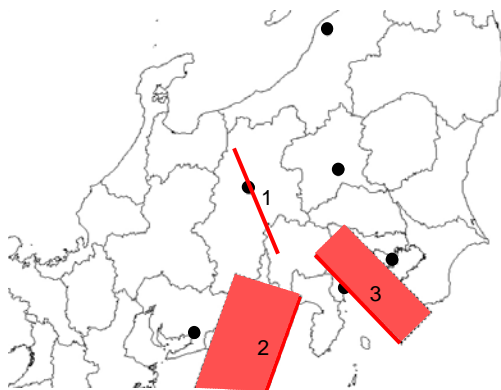


- ・災害時等の緊急時に、**出荷できる余力はバックアップ機能として役立ちます**
- ・フル稼働によって、**出荷量の減少を補うことができます**

フル稼働時出荷できる最大可能量

出荷余力を考慮したリカバリー曲線

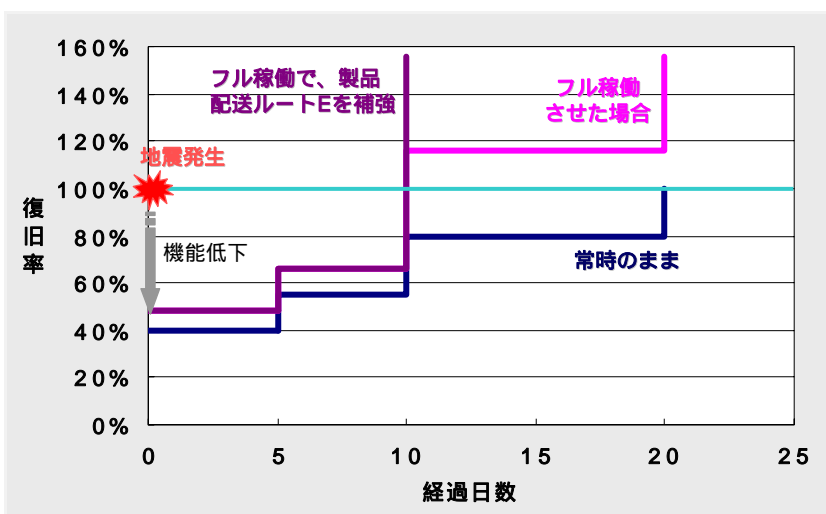
シナリオ地震によるリスク評価結果



| No. | 震源名 | マグニチュード | 年間発生確率 | 生産・配送ルート | 生産比率 | | 停止期間(日) | 停止日数期待値 |
|-----|-----------------|---------|---------|----------|-------|-------|---------|---------|
| | | | | | 常時 | フル稼働時 | | |
| 1 | 糸静線中部断層帯 | M8.2 | 0.00060 | ルートG | 0.400 | 0.480 | 0 | 7.75 |
| | | | | ルートF | 0.150 | 0.180 | 0 | |
| | | | | ルートD | 0.250 | 0.500 | 15 | |
| 2 | 1854年安政東海地震 | M8.3 | 0.00351 | ルートG | 0.400 | 0.480 | 0 | 7.25 |
| | | | | ルートF | 0.150 | 0.180 | 5 | |
| | | | | ルートE | 0.200 | 0.400 | 20 | |
| 3 | 1703, 1923年関東地震 | M8.0 | 0.00180 | ルートG | 0.400 | 0.480 | 10 | 5.65 |
| | | | | ルートF | 0.150 | 0.180 | 11 | |
| | | | | ルートD | 0.250 | 0.500 | 0 | |

上位3地震

東海地震発生後のリカバリー曲線



ルートE施設の補強

配送センターEの補強など

| 生産・配送ルート | 停止期間(日) | 停止日数期待値 |
|----------|---------|---------|
| ルートG | 0 | 5.25 |
| ルートF | 5 | |
| ルートE | 10 | |
| ルートD | 10 | |

(補強効果)

- ・フル稼働により、**早期に復旧することができます**
- ・施設Eを補強しても**100%復旧までの期間は変わりません**

問い合わせ：株式会社 篠塚研究所
〒160-0023 東京都新宿区西新宿4-5-1
TEL.03-5351-3781
E-mail sri@shinozukaken.co.jp
<http://www.shinozukaken.co.jp>